

提出 順番	No. 7	平成28年2月26日 午前・午後 9時20分
----------	----------	---------------------------

平成28年2月26日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 板 垣 良 輔



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
少人数学級の実現で行き届いた教育を	<p>少人数学級は、保護者、教育関係者の長年にわたる教育要求です。</p> <p>2011年に義務教育標準法が改正され、小学1年生の35人学級実現の国家予算が計上され、8年間かけて全学年で徐々に35人に児童数を引き下げる予定でした。</p> <p>ところが、2015年、現行より学級規模を大きくし、教員数を減らすよう議論が政府内で行われ、そのように決定されました。少人数学級による子どもの公正な学習環境の整備の流れから逆行するものです。</p> <p>40人学級で、児童は窮屈なクラスで学習し、教員は多くの業務を抱え、授業準備や子どもと接する時間が取れず苦しんでいます。</p> <p>ここ十数年、国が動き出すのを待っていただけで、自治体独自の少人数学級が広がっています。</p> <p>幕別町においても、小学1・2年生の学級に教員を加配してきましたが、これからは少人数学級の実現に向け、一歩進んだ施策が求められています。</p> <p>よって、以下のことを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 35人を超えている学級の数。</li> <li>2 35人以下学級の実現のため、本町においても独自の取り組みを。</li> <li>3 特別支援の児童をクラス編成の児童数に含め、定数を超えた場合、クラス分けを行うこと。</li> <li>4 全学年の35人学級の完全実施、及び将来30人学級を実施することを国に求めること。</li> </ol>